



2021年7月30日

2021年度（2022年3月期） 第1四半期 決算説明資料

 株式会社 日立物流

HITACHI
Inspire the Next

I. 2021年度第1四半期 決算概要

全体概要、グループ別、売上収益・営業利益増減内訳、海外地域別

II. 中期経営計画（進捗）

1Qトピックス(DX分野、国内事業、海外事業、環境取り組み)、
東証プライム市場上場維持基準の適合



I .2021年度第1四半期 決算概要



2021年度第1四半期 決算概要

(単位：億円、端数四捨五入、< >内は利益率(%))

| | 2020年度 | | 2021年度 | | | | |
|-------------------------------------|-------------|--------------------------|--------|-------|----------------|------|--|
| | 第1四半期 | | 第1四半期 | | | 通期 | |
| | 実績 | 実績 | 前年同期比 | | 計画 (4.28公表) | 前年比 | |
| | | | 比率 | 増減 | | | |
| 売上収益 | 1,473 | 1,781 | 121% | +308 | 6,900 | 106% | |
| 営業利益 [※] | <4.7> 69.8 | <5.7> 102.3 | 147% | +32.5 | <5.4> 375.0 | 102% | |
| EBIT (受取利息及び支払利息 調整後税引前四半期利益) | <7.3> 107.1 | <5.4> 95.8 | 89% | ▲11.3 | <5.4> 372.0 | 84% | |
| 親会社株主に帰属する 四半期利益 | <4.3> 63.3 | <2.7> 48.2 | 76% | ▲15.0 | <3.0> 205.0 | 90% | |

※ 本資料中の営業利益は、「調整後営業利益」を記載



2021年度第1四半期 決算概要 (グループ別)

(単位：億円、端数四捨五入、< >内は構成比(%)、()内は増減差)

| | | 売上収益 | | 営業利益 | | | |
|---------------------|--------------|--------------------|-------|-------|-------|---------|--------|
| | | 第1四半期 | 前年同期比 | 第1四半期 | 前年同期比 | | |
| オーガニック | 国内物流 | <58> | 913 | 101% | 63.8 | 102% | |
| | 国際物流 | 海外 | <33> | 522 | 163% | 26.6 | 217% |
| | | 国内会社計上分(フォワーディング他) | <7> | 109 | 165% | 4.5 | (+5.7) |
| | 計 | <40> | 630 | 163% | 31.1 | 282% | |
| | その他(物流周辺事業等) | <2> | 34 | 88% | 1.7 | 101% | |
| | 計 | <100> | 1,578 | 119% | 96.6 | 128% | |
| バンテックグループ | 国内物流 | <64> | 139 | 124% | 6.6 | (+10.1) | |
| | 国際物流(海外) | <36> | 79 | 149% | 1.9 | (+2.5) | |
| | 計 | <100> | 218 | 132% | 8.5 | (+12.6) | |
| 連結消去・バンテック顧客関連資産償却等 | | - | ▲15 | (+4) | ▲2.8 | (▲1.1) | |
| 合計 | 国内物流 | <59> | 1,046 | 104% | 68.3 | 119% | |
| | 国際物流 | 海外 | <34> | 598 | 163% | 27.8 | 236% |
| | | 国内会社計上分(フォワーディング他) | <6> | 106 | 175% | 4.5 | (+5.7) |
| | 計 | <40> | 704 | 165% | 32.4 | 305% | |
| | その他(物流周辺事業等) | <2> | 31 | 85% | 1.7 | 101% | |
| | 計 | <100> | 1,781 | 121% | 102.3 | 147% | |



2021年度第1四半期 決算概要 (売上収益増減内訳)

売上収益実績

(億円)

- ・受託領域拡大 : +20億
- ・顧客物量増減他 : +213億
(新型コロナ影響含む)

環境変化・物量増減他
+233

FY20/1Q→FY21/1Q

- ・USD: ¥108 → ¥109
- ・EUR: ¥118 → ¥132
- ・CNY: ¥15.2 → ¥17.0

為替影響
+44

ポートフォリオ
戦略実行
▲14

- ・国内 : +15億
- ・国際 : +20億

新規受注
+34

協創新規
+11

+45

1,781

1,473

+308

| 項目 | 環境変化・物量増減他 | | 小計 | 為替影響 | ポートフォリオ戦略実行 | 新規受注 | 協創新規 | 計 |
|-----|------------|------------------------|-----|------|-------------|------|------|-----|
| | 受託領域拡大 | 顧客物量増減他 (新型コロナ影響含む) | | | | | | |
| 国内 | 17 | ▲1 | 17 | | ▲2 | 15 | 7 | 37 |
| 国際 | 2 | 220 | 222 | 44 | ▲12 | 20 | 3 | 276 |
| その他 | | ▲6 | ▲6 | | | | 0 | ▲5 |
| 計 | 20 | 213 | 233 | 44 | ▲14 | 34 | 11 | 308 |

2020年度1Q(実績)

2021年度1Q(実績)

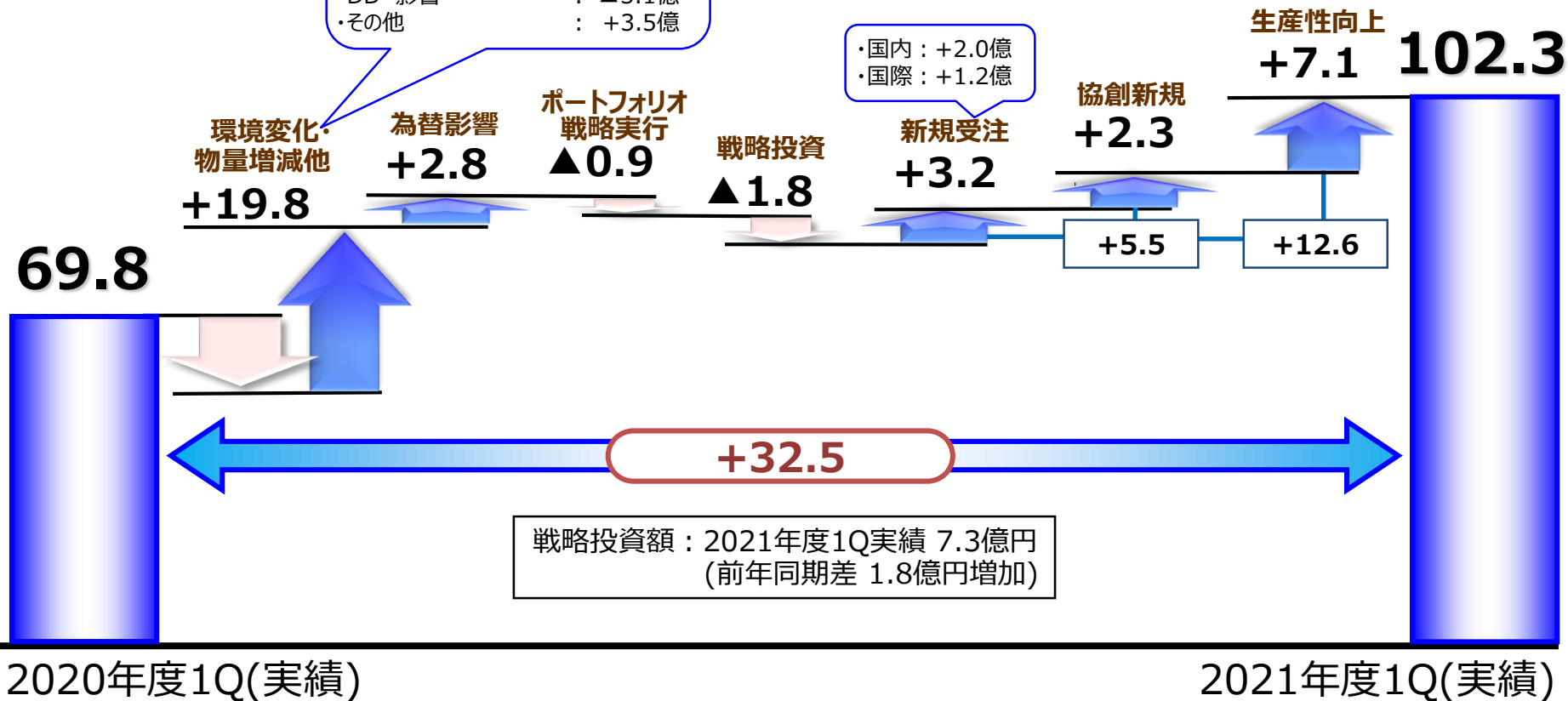


2021年度第1四半期 決算概要 (営業利益増減内訳)

営業利益実績

(億円)

- ・受託領域拡大 : +2.2億
- ・顧客物量増減他 : +24.7億
(新型コロナ影響含む)
- ・(物量回復に伴う)コスト増 : ▲7.4億
- ・DD※影響 : ▲3.1億
- ・その他 : +3.5億



※DD : 同一労働同一賃金の略



2021年度第1四半期 決算概要 (海外地域別)

(単位 : 億円、端数四捨五入、< >内は利益率(%)、()内は増減差)

| 項目 | 売上収益 | | | 営業利益 | | |
|-----------------|--------|------------|------------|----------------|-----------------------|--------------|
| | 2020年度 | 2021年度 | | 2020年度 | 2021年度 | |
| | 第1四半期 | 第1四半期 | 前年同期比 | 第1四半期 | 第1四半期 | 前年同期比 |
| 北米 | 67 | 135 | 202% | ▲2.9 | 5.7 | (+8.7) 億円 |
| 欧州 [※] | 118 | 195 | 166% | 5.2 | 11.1 | 214% |
| アジア(中国除く) | 78 | 120 | 154% | 2.5 | 7.3 | 290% |
| 中国 | 98 | 136 | 138% | 5.6 | 5.9 | 106% |
| オセアニア他 | 13 | 15 | 119% | 0.9 | 1.3 | 150% |
| 連結消去等 | ▲6 | ▲3 | (+4) 億円 | 0.6 | ▲3.4 | (▲4.0) 億円 |
| 計 | 368 | 598 | 163% | <3.2%> 11.8 | <4.7%> 27.8 | 236% |

※ トルコは欧州に含む



参考資料

業態別実績 (概算値)

(単位：億円)

| | 2020年度 第1四半期 | | | 2021年度 第1四半期 | | |
|-----------------|--------------|--------------|--------------------|--------------|--------------|--------------------|
| | 売上収益 | 営業利益 | 営業利益率 | 売上収益 | 営業利益 | 営業利益率 |
| 国内 | 906 | 63.1 | 7.0% (7.0%) | 916 | 64.0 | 7.0% (7.0%) |
| 海外 | 160 | 7.8 | 4.8% (5.4%) | 222 | 12.8 | 5.8% (6.2%) |
| 3PL | 1,066 | 70.9 | 6.6% (6.8%) | 1,138 | 76.7 | 6.7% (6.9%) |
| 国内 | 62 | ▲ 1.4 | - - | 106 | 4.5 | 4.2% (5.2%) |
| 海外 | 139 | 4.9 | 3.5% (4.0%) | 256 | 12.1 | 4.7% (4.9%) |
| フォワーディング | 201 | 3.5 | 1.8% (2.6%) | 363 | 16.5 | 4.6% (5.0%) |
| 国内 | 105 | ▲ 5.9 | - - | 130 | 3.2 | 2.4% (4.1%) |
| 海外 | 65 | ▲ 0.4 | - - | 120 | 3.3 | 2.7% (2.8%) |
| オート | 170 | ▲ 6.4 | - - | 251 | 6.5 | 2.6% (3.5%) |
| その他サービス | 36 | 1.8 | 5.0% (5.0%) | 30 | 2.6 | 8.7% (8.7%) |
| 合計 | 1,473 | 69.8 | 4.7% | 1,781 | 102.3 | 5.7% |

※ () 内は顧客関連資産償却費を除く



Ⅱ. 中期経営計画（進捗）



「LOGISTEED 2021」のゴールと次期中期経営計画に向けて 地域・事業の領域を超えたエコシステム(経済圏)の形成・拡大

アジア圏 3 PLリーディングカンパニーへ

- 日本での確固たるポジション構築
- 盤石な経営基盤の確立と増強
- アジアの地域リーダーへの進化
(日本とアジアの結節点)

キャッシュ・自己株式の機動的活用

- キャッシュ優先
- 自己株式消却 (随時)
- アライアンス、M&Aへの活用

① 戦略投資

- ・ DX分野 (スマートウェアハウス・SSCV・SCDOS他)
- ・ 海外事業 (北米：トラック事業、インド：3 PL事業)
- ・ 環境投資 (欧州：インターモーダル、サーキュラーエコノミー、EV)

② M&A戦略

- ・ フォワーディング事業強化
- ・ アジア域内事業強化 (3 PL事業 (倉庫・輸配送))
- ・ 国内輸送事業強化

③ 上記を可能にする協創戦略：PEファンド・事業会社 (同業/DX)

【1Qトピックス】

自己株式の消却実施 ⇒ 東証プライム市場上場維持基準の適合

DX分野

- SSCV-Safety提供開始
- DX認定取得事業者に選定

国内事業

- 東日本第二メディカル
物流センターでの新技術導入

海外事業

- 北米:自動車関連顧客
構内物流運営
- 中国:自動化・省人化
設備導入の加速

環境取り組み

- 「日立物流グループ
環境中長期目標
2030/2050」を更新



新サービス「SSCV-Safety」提供開始（2021年7月12日リリース）

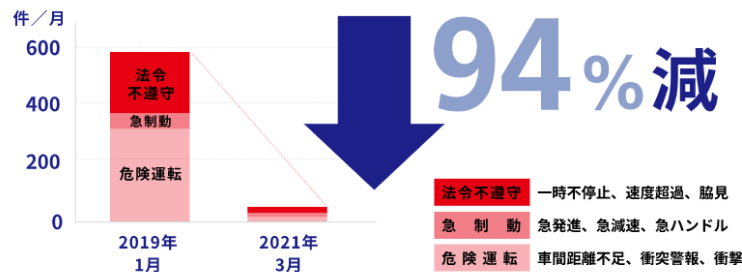


■ 主な特徴



■ 当社事業所における導入効果

【総インシデント(ヒヤリ・ハット)発生件数】



- 運行前後と運行中の生体データと車両挙動などから取得した運転データをAIで分析
- ドライバーの「疲労」や「ストレス」を可視化し、漫然運転に起因する事故を未然に防止

**✓ 輸送事業者が抱える「ドライバー安全管理」の強化、
労働環境整備など社会課題の解決に貢献**



経済産業省の「DX認定取得事業者」に選定（2021年5月12日リリース）



※DX認定制度：「情報処理の促進に関する法律」に基づき、DX推進において企業に求められる対応を定めた「デジタルガバナンス・コード」の基本的事項に対応する事業者を国が認定する制度

【中期経営計画(LOGISTEED 2021)におけるDX戦略】

1. 基本方針

✓CPS(Cyber Physical System)と協創による価値創造

2. 重点施策

- (1) 協創によりデータを価値に変えるエクスターナル(社外向け) DX
- (2) 業務を効率化しデータを集約するインターナル(社内向け) DX
- (3) DXを実現する組織づくり・人財
- (4) ITガバナンスの強化
- (5) DX関連の投資を継続
- (6) KPIの設定・管理によるDX分野でのPDCAサイクルの確立

CPS (Cyber Physical System)

仮想空間(サイバー)



ビッグデータ・AI解析

デジタルな答え
だけでは
フィジカルには
通用しない



DXによる見える化

アナログの知恵による
最適化



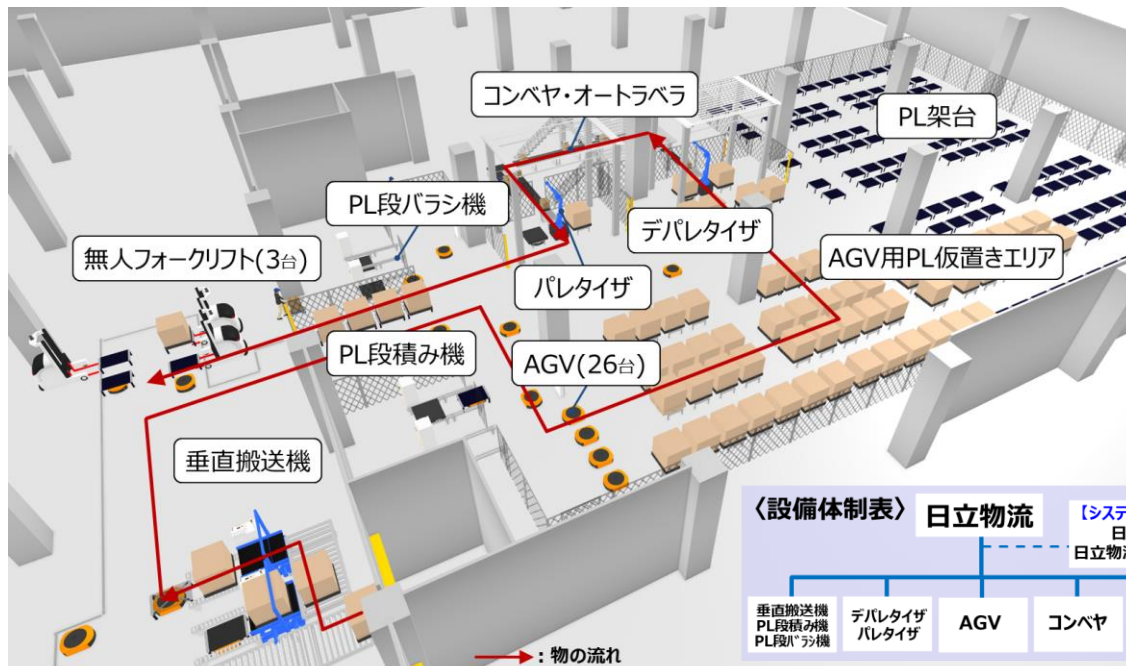
BtoB物流(国内3PL)市場
マーケットリーダーとしての
経験・ノウハウ

現場を動かす
深いアナログの知恵



東日本第二メディカル物流センター

【汎用物流センター向け「新ケース仕分け設備」の開発・導入】



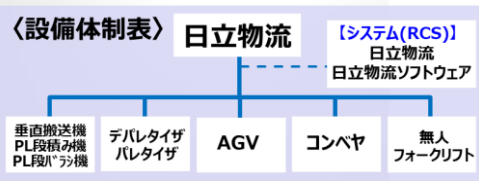
- ケース順建てをAGV※により実施
- パレット搬送～ケース仕分け～ステージングまでを完全無人化
- 複数顧客で設備シェアリング



新ケース仕分け設備
2021年9月～

※AGV：自動搬送車(Automated guided vehicle)

2021年2月稼働

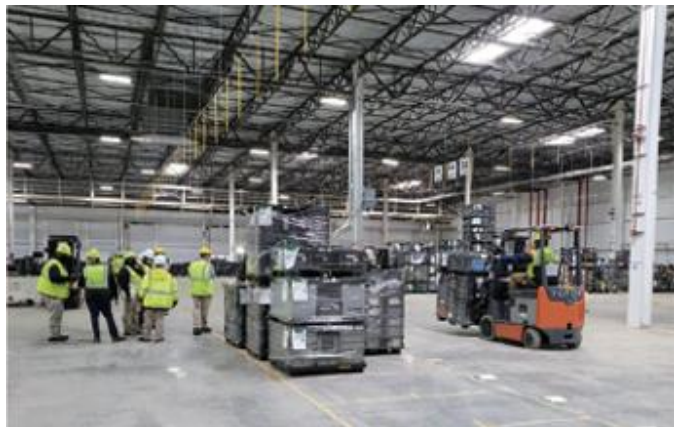




北米と中国における取り組み

【北米：顧客工場の構内物流運営】 【中国：自動化・省人化設備導入の加速】

■ 自動車生産の上流工程の取り込み



2020年10月～立ち上げ

- 省人化オペレーションによる安全・品質・生産性の継続提供
- 事故リスクの低減
- 生産と物流が一体化した作業モデルの構築
(大量処理と正確性の追求)

- 高密度保管による外部倉庫使用面積縮小
- 作業ロケーションの可視化
- 高密度パレット保管 + 品質担保モデルの構築



パレット搬送AGV
2020年6月～



高密度水平自動搬送ラック
2021年4月～



「日立物流グループ環境中長期目標2030/2050」を更新（2021年7月）

CO₂
総排出量

(国内スコープ1+2※2)

■ 2030年度目標

基準年度比※1 **50%削減**

■ 2050年度努力目標

カーボンネットゼロをめざす

- 排出範囲：事業の運営により自家で消費したエネルギー起源のCO₂
- エネルギーの種類：電気・車両用燃料等

※1.基準年度：2013年度



水戸輸送センター

■ CO₂排出量削減の5つの手法

省エネ



- ・モーターシフト
- ・SSCV、VC活動
- ・LED、エコカー等

電化



- ・電気自動車、燃料電池車等

創エネ



- ・太陽光パネル
- ・蓄電池等

排出権取引



- ・炭素税支払
- ・排出権取引等

再エネ



- ・省エネ事業者からの購入等

✓「省エネ」例：「SSCV-Smart」

- ・全国集中配車センター化による効率向上
- ・カーボンニュートラルへ取り組み強化



<参考> 第22回物流環境大賞「先進技術賞」を受賞（2021年7月5日リリース）

- 複数のEC事業者の物流作業を、1つのプラットフォームで運営
- 自動化・省人化設備、情報システム、保管・作業スペース、管理者・作業者をシェアリング
- EC物流に必要なデータ連携、在庫保管、梱包業務、発送業務をパッケージで提供

日立物流の EC物流向けシェアリング自動倉庫の概要
SMART:WAREHOUSE

✓ **CO₂排出量：**
従来比▲30%(74トﾝ/年)

※2. スコープの定義
 スコープ1：自社施設、車両等からエネルギーの使用に伴い、直接排出したCO₂
 スコープ2：自社施設でのエネルギーの使用に伴い排出したCO₂のうち、排出場所が他者施設のCO₂
 スコープ3：スコープ1・2以外のサプライチェーンによる間接排出

自己株式の消却（2021年5月20日リリース）

【自己株式の消却概要】

- 消却株式数：6,975,786株（消却前発行済株式総数に対する割合6.2%）
- 消却日：2021年6月4日

✓ 当社 流通株式比率：37.2%（2021年6月30日※現在）

⇒ 本消却の結果、東証プライム市場の上場維持基準の一つである

「流通株式比率35%以上」に適合（2021年7月30日東証判定結果通知）

※（東証）新市場移行基準日

＜参考＞

- ・消却後の発行済株式総数：104,800,928株
- ・消却後の自己株式数：20,927,359株
（消却後発行済株式総数に対する割合20.0%）



2021年7月30日

2021年度（2022年3月期） 第1四半期 決算説明資料

 株式会社 日立物流

HITACHI
Inspire the Next



物流は新領域へ

LOGISTEED